



きこりん だより

2024.1.5 No.74



発行：子ども家庭支援センター・きこりん
奥多摩町小丹波108番地 TEL:0428-85-2611



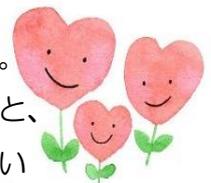
親子のコミュニケーション



ことわざに、親と子に関するものがあります。「親の心、子知らず」はよく耳にしますが、「子の心、親知らず」というものもあります。子どもをいつまでも幼いと思っている親には、子どもの心がわからないという意味で、親がいつまでもわが子を子ども扱いしたり、子どもの成長を理解していない時などに使われます。人は誰しも自分を中心に物事を考えてしまい、親は親の立場で、子は子の立場でしか考えられないから、気持ちのすれ違いなど双方にギャップが生まれてしまうということでしょう。

子どもの話を聴く際に、親が出来ることは「子どもの立場で考える」「子どもの立場を思いやる」ことです。コミュニケーションをとる際に、相手の話に心から耳を傾けることは、相手を大切にすることになります。親が子どもの話をちゃんと聴いてくれることは子どもに安心感を与え、子どもの心の安定にも繋がります。また親が子どもの話をきちんと受け止める気持ちをもって、子どもの話を聴くことで子どもとの信頼関係も築かれていきます。家族との会話と精神的な安らぎに相関関係がみられることや、親子の会話の多さと子どもの知的好奇心に関係性が深いという調査もあります。

子育て中のみなさんは、いくら時間があっても足りないほど忙しいことでしょう。忙しい中であっても、お子さんとのコミュニケーションを大切にされ過ごした時間と、その時間の中で育んだ親子の信頼関係は、必ずその後も続く親子関係で、代えがたい貴重なものになっていきます。





**12月5日に第3回ファミサポ・病後児研修
「子どもの応急対応こんなときはどうする？医師編」が
開催されました！**

奥多摩病院総合診療科高梨俊洋先生から、子どもの応急対応として「困った時の調べ方」や「病院への受診の仕方」「様々な症状・事故への対応」などのお話を伺いました。熱が出た際、布団をかぶって汗をかくと早く治るといのは根拠がなく、今は快適に寝ていられるように涼しい状態でからだを休めることが推奨されているというお話には、参加者から「えっ！知らなかった！」という驚きの声。みなさん熱心に受講されていました。



第4回ファミサポ・病後児研修

「笑いヨガ」 みんなで笑って心もからだも元気！

笑いヨガ(へへ)

令和6年1月31日(水) 10:00~11:30

場所：文化会館 多目的ホール

持ち物：汗拭きタオル、補水用飲み物

申し込み〆切：1月25日(木) *託児あり

*問い合わせ・申し込み きこりんまで



きこりんでは、^{ことし}今年も楽しい^の催し物^をを考えたい^と思います♥
^{ふゆ}冬の寒さに^ままけないで^{みんな}みんな^{げんき}元気で^す過ごしましょう😊



「絵本といっしょ」でのクリスマス会にて